

7/17 木曜

参政党、靖国神社に献灯

参院選で初めて議席を獲得し、国政政党の要件を満たした参政党が「有志一同」として、靖国神社の「みたまつり」にちょうちんを奉納していくことが本紙の取材で明らかになりました。

靖国神社では13日から16日まで、戦没者を慰める「みたまつり」が開催され、3万灯のちょうちんが飾られました。その中に、参政党も「東京支部」「埼玉支部」「神奈川支部」「香川支部」など、地方支部のちょうちんが並んでいました。



日本の侵略戦争 正当化に賛同

靖国神社に「参政党」の名前が入ったちょうちんが並んでいました。

も「夜の靖国神社もまた格別です」と、ちょうちんの奉納を報告しています。

同党高崎支部のツイッターハンは「國のために尊い命を捧げられた英靈を慰めたいと思い献灯いたしました」と投稿。東京支部は、「國のために尊い命を捧げられた英靈を慰めたい」と思って献灯いたしました」と宣伝する特殊な施設です。献灯は、こうした同神社の特異な立場に賛同をすることがあります。

参政党は今更、改憲の議論を党内で始め、党としての「創憲」案をまとめる方針です。過去の侵略戦争への反対がないまま、「憲法をつくる」のであれば、日本会議勢力をはじめ既存の改憲派と同じ穴のむじになります。